

財 政 局

◆ 一般会計要求総額 83,056百万円
(対前年度 △ 1.7%)

【平成30年度 財政局 経営方針】

本市は、「北九州市基本構想・基本計画」（「元気発進！北九州」プラン）に基づき、「人と文化を育み、世界につながる環境と技術のまち」の実現に向け、未来を見据えて精力的な取り組みを進めている。

こうした中、本市の財政状況を見通すと、市税や地方交付税等の伸びが見込めない中、高齢化の進展等による福祉・医療関係経費の伸びに加え、老朽化した公共施設の改修・更新経費の増加が見込まれるなど、本市の財政を取り巻く環境は楽観視できない状況にある。

平成30年度は、「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、国家戦略特区の推進や連携中枢都市圏に関する政策などを強力に推進することで、本市の魅力を飛躍的に高め、「北九州市行財政改革大綱」及び「北九州市公共施設マネジメント実行計画」を踏まえ、事業の「選択と集中」や経営改善に取り組み、持続可能で安定的な財政運営を行っていく。

【平成30年度 予算要求の基本的な考え方】

● 持続可能で安定的な財政の確立と維持

◎ 予算編成等における取組み 要求額 1,499百万円 (対前年度 △0.2%)

事務事業の「選択と集中」	限られた財源の中で、健全な財政運営を維持するため、「北九州市行財政改革大綱」に基づく持続的な仕事の見直しなど、「見直すものは見直し、強めるものは強めていく」という「選択と集中」を図る。 ◆ 予算編成における事務事業の見直し など
「財政の見える化」の取組み	市民に、本市の財政状況や予算についての理解を深めていただくため、「わかりやすい北九州市の財政（パンフレット）」、「財務書類（バランスシート等）」の作成や、市ホームページへの予算書や中期財政見通し等の掲載を引き続き行うなど「財政の見える化」の取組みを進めていく。 ◆ 「わかりやすい北九州市の財政」作成 ◆ 統一的な基準による財務書類作成

◎ 収入の確保・資産の有効活用等における取組み 要求額 1,869百万円 (対前年度 + 5.4%)

市税収入等の確保	市税について、正確な課税客体の把握を行うなど適正・公平な課税を行うとともに、高額事案等の滞納整理を重点的に実施し、進行管理を徹底して、更なる収入率の向上を図る。 また、平成29年6月に施行された北九州市債権管理条例等に基づき、市債権の適正な管理の推進を図る。 ◆ 市税の収入率の更なる向上 ◆ 市債権の適正な管理など
ふるさと北九州市応援寄附金の促進	「ふるさと北九州市応援寄附金」（「ふるさと納税」）について、「本市の魅力ある特産品や体験型の返礼品を選定し、市外居住者へのPRを積極的に実施することで寄附件数・寄附金額の増加に取り組む。 ◆ 「ふるさと北九州市応援寄附金」の促進
未利用市有地の処分及び有効活用等	自主財源の確保のため、未利用市有地の積極的な商品化を進め、売却促進に取り組むとともに、個々の土地の特性に応じた活用を図るため、事業用定期借地等による貸付けや「ふれあい花壇・菜園事業」などを実施する。 ◆ ふれあい花壇・菜園事業 など



◎ 公債償還特別会計繰出金 要求額 67,962百万円 (対前年度 + 0.1%)

◎ 公営企業費 要求額 ※ 11,426百万円 (対前年度 + 8.9%)

※ 「公営企業費」の要求額は、一般会計繰出金について、企業局（上下水道局・交通局・病院局）等から要求を受けた額になります。

【特別会計】

◎ 公債償還特別会計 要求額 167,615百万円 (対前年度 △ 4.7%)

※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成30年度に実施することが確定しているものではありません。